

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西多賀中学校（指定校）・金剛沢小学校（協力校）

<校務利用> ② 生成AIパイロット校校内研修「生成AIの教育利用の可能性を考える」

【概要】生成AIパイロット校の教職員に対し、生成AIの仕組みや特性の理解、また、校務での活用イメージを持つことができるよう、学校DX戦略アドバイザーによる体験的な研修を実施した。

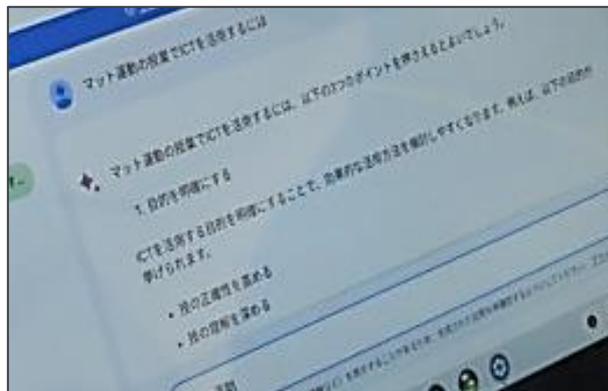
【研修のねらい】

- ・生成AIの校務や授業における利用の可能性や課題について理解する。
- ・生成AIのような高度な学習機能を持つ人工知能が次々と現れ膨大な情報が溢れるデジタル社会にいかに向き合うかを児童生徒に考えさせる指導について理解を深める。
- ・リーディングDXスクール生成AIパイロット校としての役割を理解する。

【研修の具体】



【講話】学校DX戦略アドバイザー 菅原弘一氏（宮城教育大学教職大学院特任教授）を講師に、仙台版生成AI利活用ガイドラインを基に、教育利用に当たって確認しておくべきことを共通理解する。



【ワーク1】GoogleBard（現Gemini）を実際に操作しながら、各自プロンプトを入力し、得られた回答を基に、気づきや、校務・授業で活用する場合の留意点について意見交流する。



【ワーク2】校務や授業での困り感を解決する手助けとなりそうな、生成AIの利用アイデアを、グループごとGoogleスライドに意見を整理しながら考える。他のグループの閲覧や発表から利活用イメージを広げる。